



給食会だより

第150号

〔公財〕川崎市学校給食会



〒210-0004 川崎区宮本町6番地（明治安田生命ビル4F）

TEL 200-3298,3300 FAX 222-1442

亥年～平成最後の年

公益財団法人川崎市学校給食会理事長 本間 俊

新年明けましておめでとうございます。

今年、干支の十二支の最後である「亥年」です。「亥年」の象徴である猪は、「猪突猛進」という真つすぐで迅速であるということから、古来、神仏のお使い、火の神の化身ともされています。また、猪の肉には万病さえも防ぐ力があるので、「無病息災」の意味もあります。植物の成長としては、亥の季節は冬で、葉も花も散って、種に生命を引き継いだ状態が「亥」です。「亥」に木編を補うと「核」になるのも象徴的です。次の成長に備えて、内面の充実を心がけると良い年ということが言えると思います。

干支の最後からつなげると、元号では「平成」最後の年です。平成31年は4月一杯で、5月からは新たな元号になります。したがって、今年は皇室関係の諸行事により休日が増加します。それに伴い学校現場では授業時数の確保に知恵をしぼることになります。給食の実施日についても同じことが言えることと思います。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

給食会にとって「平成」という時代は様々な面で変革の時代だったということができると思います。公益財団法人に移行したこと（それ以前は財団法人でした）、給食システムの導入、中学校給食の全面実施、給食費の値上げ等。どれも大きな出来事であり、次の時代につながっていく出来事だということが出来ると思います。

そして、新たな元号になってからはどうでしょうか。給食会にとっても学校現場にとっても大きなこととなりそうなのが、公会計化に向けての動きです。まだ川崎市としての具体的なスケジュールが公表されていないので、はっきりしたところは分かりません。ただ、教員の働き方改革の一環としての文部科学省の通達により、全国的に公会計化の動きが加速していきそうな気配です。実際、周辺の自治体で公会計化するところが確実に増えています。昨年うちに25校の中学校を訪問しましたが、会計事務の負担の大きさから公会計化を望む声を多数いただきました。実際に公会計化するとなると、システムの導入や給食費の未納対策等、そこに至るまでの課題は少なくありません。公会計化実施に向けての動きが、実施内容の充実が図られて、学校現場にとって歓迎するものになっていくことを願いたいと思います。

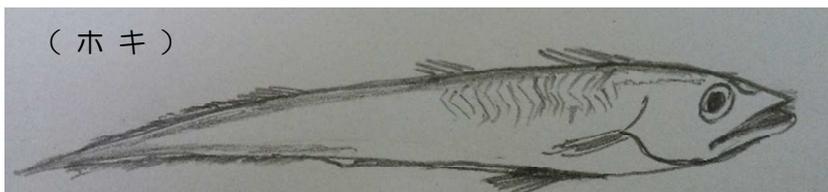


白身魚のフライに使われる「ホキ」ってどんな魚？

給食でも馴染みの「ホキフライ」のホキってどんな魚なのでしょう。

ホキは1969年、日本船によって開発され、1970年代くらいから国内で流通するようになりました。主にフィレで出回り、輸入白身のなかでも人気が高い魚です。またアメリカ、ヨーロッパでも高い需要があります。本種は流通上「ホキ」とされているもののひとつですが、近年漁獲量が減っているらしくあまり見かけません。最近「ホキ」で流通している魚の多くはデコラのように、ファストフードのフィレオフィッシュや仕出し弁当の「白身魚のフライ」は、この「デコラ」と呼ばれている魚たちが使われることが多いようです。

「ホキ」の仲間は、フィレで流通し、薄い皮をもっています。非常に上品な白身でイヤミがなく、煮てもソテーしても、揚げても身が縮まず、軟らかいです。ただし、うま味が少なく、バターや油、スパイスなどで補う方がいいとも言われています。



体長…120cm 前後。大きな頭で、

大きな眼球をもち、非常に細長い先細った体をしている。

生息域…海水魚。水深10～1,000m。

オーストラリア南、ニュージーランド海域の水深200～700mに棲息。

生態…魚を食べる肉食性であり、大きな口には鋭い尖った歯があり、ハダカイワシを主な獲物とするが、甲殻類やイカも食べる。寿命は12～14年ほどである。産卵期は6月から9月。

ホキ属で重要な3種

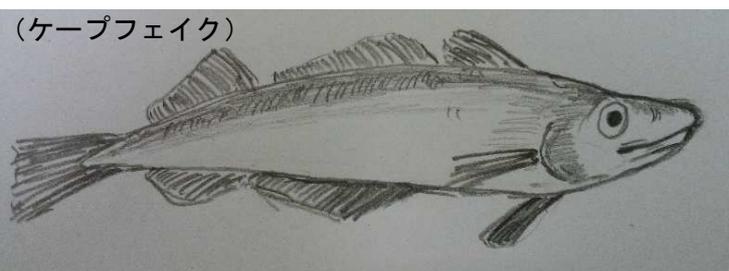
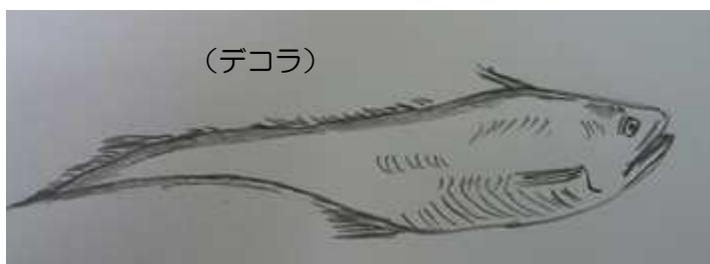
ニュージーランド・オーストラリア／*Macruronus novaezelandiae* (ホキ)

アルゼンチン・チリ／*Macruronus magellanicus* (デコラ)

南アフリカ／*Macruronus capensis*

(ケープフェイク)

ホキは年間700万キロ(7千トン)も漁獲されており、絶滅の危機を迎えています。ホキの減少により、ホキの使用を止めたり、使用を制限したりしている外食産業もあります。持続可能な漁業のためにホキ漁業は海洋管理協議会の認証を受けています。



Wikipedia等を参考にして